

2026年1月20日

学校法人菅原学園

東北電力株式会社

東北電力ネットワーク株式会社

社会インフラを支える人財の創出・育成に向けた産学連携について

～3社の知見を生かした電気系学科の新設による教育体制構築～

学校法人菅原学園（以下、「菅原学園」）、東北電力株式会社（以下、「東北電力」）、東北電力ネットワーク株式会社（以下、「東北電力ネットワーク」）は、地域の産業界における技術者を育成することを目的として、2027年4月、菅原学園内に新たに設置する実践的かつ先端的な教育内容を備えた「電力エンジニアリング科」の運営に向けた協定を、本日締結いたしました。

少子化が進む昨今、3社が連携して電力の安定供給を担う人財を育成することにより、社会インフラの維持を通じて持続的に地域の安全・安心に貢献してまいります。

1. 取り組みの背景と目的

近年の少子化や人口減少を背景とした技術系人財の不足から、将来的には電力設備を含む社会インフラの維持が困難になることが懸念されます。

こうした状況を踏まえ、3社がそれぞれの持つ知見や技術を生かし、電力の安定供給の面から、地域の社会インフラを支える人財の創出・育成を目指した教育体制を構築するため、協定を締結したものです。

今回新設する「電力エンジニアリング科」において、菅原学園は、学科の設置・運営のほか、情報リテラシー系や就職対策の授業などを実施します。東北電力、東北電力ネットワークは、電気系の授業に係るカリキュラム作成支援や講師派遣、実習施設の提供を行います。本科での学習を通じ、電気工事・保安に係る知識・技能を身につけることができ、電気工事士などの資格取得にもつながるものと考えております。

なお、本科で学んだ人財は、東北電力グループを含む、電力や電気設備を扱う業種で活躍することを想定しております。

2. 各社の役割

菅原学園	学科の設置・運営、情報リテラシー系や就職対策授業の実施 など
東北電力 東北電力ネットワーク	カリキュラム作成支援、講師を含む専門人財派遣、実習施設の提供 など

3. 新設学科の概要

学科名	電力エンジニアリング科
開講時期	2027年4月（2026年度より募集開始）
学生数	20名
修業年数	2年
教育内容	電気理論、電気工事・保安に係る知識・技能、情報リテラシー系 など

以上

社会インフラを支える人財の創出・育成に向けた産学連携について ～3社の知見を生かした電気系学科の新設による教育体制構築～

2026年1月20日

キミに、いちからチカラを。

CAREER COLLEGE  菅原学園

 より、そう、ちから。
東北電力

 より、そう、ちから。
東北電力ネットワーク

1. 連携の概要

- ▶ 近年の少子化や人口減少を背景とした技術系人財の不足から、将来的には電力設備を含む社会インフラの維持が困難になることが懸念される。
- ▶ 菅原学園、東北電力、東北電力ネットワークがそれぞれの持つ知見や技術を生かし、電力の安定供給の面から、地域の社会インフラを支える人財の創出・育成を目指した教育体制を構築。



新学科の設置

学科運営
学生募集・学科PR
授業・実習

就職支援



教育課程・カリキュラム設計支援

講師派遣
施設・設備を活用した実習環境の提供

就業体験

2. 新設学科の概要

専門学校デジタルアーツ仙台 電力エンジニアリング科

目的・理念	<ul style="list-style-type: none">▶重要インフラである電力の面から、地域の安全・安心に貢献する▶電力の安定供給を担い、東北6県・新潟県で活躍する人財を育成する
対象とする学生像	高校卒業生、社会人経験者、技術者をめざす学生など
設置時期	2027年4月開講（2026年度より募集開始）
募集定員	20名
修業年数	2年
教育内容	1年次：電気基礎（主に第二種電気工事士試験相当）、実習 2年次：電気応用（第一種電気工事試験の一部ほか）、実習、情報リテラシー系
教員体制	菅原学園：情報リテラシー系や就職対策の授業を担当 東北電力、東北電力ネットワーク：電気系授業・実習を担当
施設・設備	校舎・教室：菅原学園の施設で授業・実技作業 特別実習：東北電力、東北電力ネットワークの施設活用
資格・検定対応	取得必須：第二種電気工事士、ITパスポート 取得支援：第一種電気工事士、第三種電気主任技術者など
想定就職先	電力・電気設備を扱う業種／東北電力グループを含む企業・官公庁など

3. 専門学校デジタルアーツ仙台 電力エンジニアリング科の特色

- 菅原学園は、ITパスポートなど、実社会に求められる資格取得をサポートするほか、これまで電気に触れてこなかった学生にも手厚くサポートします。
- そのほか、東北電力、東北電力ネットワークと連携することによる特色は以下のとおりです。

1. 東北電力、東北電力ネットワーク監修の実践的・効率的カリキュラム

- ・ 東北電力、東北電力ネットワークの現役技術者の知見を生かした実践的なカリキュラム

2. 現役技術者が直接指導する実務に即した効率的な実習

- ・ 電気に関する実習は東北電力、東北電力ネットワークの現役技術者が担当
- ・ 実務に直結した授業を通じて、効率的に資格取得（第二種電気工事士など）

3. 東北電力、東北電力ネットワークの施設での特別実習

- ・ 東北電力、東北電力ネットワークで実際に運用している電力設備でのフィールドワーク
- ・ 実習先 = 目指す職場を実現し、学生のミスマッチをゼロに

4. 東北電力、東北電力ネットワークの就業体験イベントへの推薦枠

- ・ インターンシップにあたる「就業体験イベント」に特別推薦枠での参加が可能(※)

(※)人数制限あり

